

令和5年度 教員による自己評価について

令和5年度の当園の教員による自己評価についてご報告いたします。

評価方法は、4点法(4:とても思う 3:まずまずと思う 2:あまり思わない 1:全く思わない)で行いました。

評価内容については、教育の理解・環境の構成・教育内容の計画・保育のあり方・対応などを16の「評価分類」に分け、それを更に81の「評価内容」に分類しました。全体を通しての平均点は3.5になりました。

主だったものを下の表にまとめましたが、各分類の中での内容から評価点の一番高いものと低い内容について記載しています。

No.	評価分類	評価内容	平均評価
1	園の教育理念・教育方針の理解	園の教育理念や教育方針を理解している。	3.4
		園の目指す幼児の姿を具体的にイメージできる。	3.3
2	環境の構成	安全で清潔感のある環境構成をしている。	3.6
		幼児が自ら活動を生み出していけるような素材との出会いを考えている。	3.1
3	健康と安全への配慮	幼児の体調や衣服の調整などいつも確かめている。	3.9
		基本的な生活習慣には関しては常に指導をしている。	3.4
4	幼児のみとりと理解	幼児が今、興味や関心をもっていることがわかる。	3.7
		幼児同士のかかわりの姿をとらえている。	3.4
5	指導計画	園の教育課程をもとに、保育の計画をたてている。	3.7
		地域の自然や文化施設・行事を指導計画に位置づけている。	3.0
6	保育のあり方と 幼児への対応	食事のマナーや食育などについて、具体的にかつ継続的に指導している。	3.6
		幼稚園教諭として専門知識や技能を身につけている。	3.0
7	保護者との情報交換	幼児の様子を適時に知らせている。	3.9
		クラス運営や自分の考え方を知らせている。	3.0
8	専門性に関する研修や 研究	自分の保育について課題をもって計画と反省を行なっている。	3.4
		研修会には自己課題をもって進んで参加し、活かすようにしている。	2.7
9	今日的課題	幼小連携など就学を見通した保育についてや、あり方について学習している。	3.1
		障害のある幼児に対応する保育のあり方を学習している。	2.7

評価項目が多岐にわたっており、すべてについての記載はできませんが、自己評価の結果により、教員一人一人が問題点を的確に把握できるほか、園全体として今後の教育方針の参考としています。

今年度ポイントが低かった評価内容につきましては、今一度、幼児教育専門職としての責務を自覚し、研修を含め研鑽に努めたいと思います。今後も改善内容を重点的に精査し努力するとともに、「魅力ある国づくり」を目指し、幼稚園全体の教育水準の向上と充実に努めて参りますので、これからもよろしく願いいたします。

以上、教員による自己評価の結果報告といたします。